

平成27年度 宇和島市地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型) 事業別実績及び効果検証結果一覧

愛媛県宇和島市

基本情報			事業概要			事業成果						事業の今後		事業の検証					
No.	事業名称	担当課名	事業目的	総事業費(実績額)	交付金充当額	成果内容	KPI名称	目標数値	実績数値	結果	左記結果の理由	目標達成のための課題等	今後の方針	今後の方針の内容	外部有識者からの意見	検証結果			
1	宇和島市総合戦略策定事業	企画情報課	安定した雇用の創出や安心できる生活環境の実現など地域活性化のための自立的かつ持続的な好循環の確立を目指すため、必要な専門的調査等を実施しながら「宇和島市総合戦略」及び「人口ビジョン」を策定する。	9,072,161	8,800,000	外部有識者を含む総合戦略推進本部会議等を開催・運営し、意見集約を図りながらコンサルと連携し、地方版人口ビジョン及び総合戦略を策定した。				順調に達成した	目標とする期日までに地方版人口ビジョン及び総合戦略を策定し公開することができた。	—	予定通り終了する	平成28年3月に総合戦略策定を完了したため。					
2	子育て・親育ちをサポートする事業	福祉課	女性の就労に伴う低年齢児からの保育ニーズの増大、核家族化、地域のつながりの希薄化などにより、子育てに対する不安感を抱える保護者が増加傾向にある。行政が、一体的に保護者の子育てを支援する体制づくりを進めることにより、子育てに対する不安感の軽減や楽しんで子育てを行える環境づくりを行う。	9,782,507	9,700,000	【相談窓口と情報発信】 平成27年4月から福祉課に子育て相談窓口を設置し、5月から臨床心理士による相談を月1回程度実施するとともに、市ホームページに子育て情報をまとめたサイトの開設を行った。また、子育て応援ブックや育児のしおりを作成し、安心して子育てができる環境づくりと、食育かるたの製作による健康啓発を行った。	窓口相談件数	100件	113件	順調に達成した	広報紙、ホームページ、育児サークル及び各種健診等を通じ周知活動を実施したため。	安心し気軽な相談窓口となるため、SNSの活用や育児サークル等親子が集う場における事業展開を行うことが必要である。	見直し(改善)を行う	月1回程度の実施であった臨床心理士による相談を常勤の心理相談員による相談に替え、心理業務の充実を図る。	広報紙、ホームページ、保育所、育児サークル、各種健診等を通じ、周知活動が積極的になされている。	総合戦略のKPI達成に有効であった			
						配慮が必要な児童への対応	40人	66人	順調に達成した			見直し(改善)を行う				総合戦略のKPI達成に有効であった			
						【読み聞かせ】 平成27年4月から出産記念に初めての絵本(ファーストブック)を贈呈するとともに、月1回市内各所で読み聞かせ会(12回)を開催し、絵本を通じて親子でふれあう機会を設けた。	読み聞かせ会の参加人数	800人	828人	順調に達成した	広報紙、ホームページの活用及び保育所、育児サークル等でイベントの周知活動を積極的に実施したため。	松山から読み聞かせのプロを招致しイベント的に開催したので、参加者はリピーターが多く、本来のブックスタート事業の趣旨とは違った形となってしまった。	見直し(改善)を行う	8か月児健康相談時(本庁・支所において月1回、年48回実施)に読み聞かせ会を開催する。また、読み聞かせ会の開催にあたっては、地元ボランティア団体を活用しながら育成を図っていく。		総合戦略のKPI達成に有効であった			
							読み聞かせボランティア参加者数	50人	48人	ほぼ順調に達成した			見直し(改善)を行う				総合戦略のKPI達成に有効であった		
3	多様な地域商業構築事業	商工観光課	商店街のモール化支援事業、中心市街地における起業・創業支援や新商品開発、周辺地域の買物弱者支援事業を実施し、これからの社会情勢に対応すべく多様な商業形態の構築を図る。	6,029,000	6,029,000	宇和島市中心市街地整備基本構想を策定し、これから中心市街地の活性化に取り組むための基礎資料を準備した。また、買い物弱者支援のため、移動販売車を導入しようとする事業者に補助を行った。(1台)	基本構想策定	1件	1件	順調に達成した	多様な地域商業の構築に向けた環境整備の段階であるため。	関係団体や事業者との情報共有。	見直し(改善)を行う	策定した中心市街地整備基本構想を基に、平成28年度は商店街活性化補助金を創設し、商店街の自主的な活動を支援することにつなげていく。	創業支援については制度設計に時間を要したため次年度に事業を繰り越すことになったが、本事業による中心市街地整備基本構想を策定できたことにより次年度以降の事業展開に期待ができる。	総合戦略のKPI達成に有効であった			
						創業支援件数	2件	0件	達成しなかった										
						移動販売車導入	2件	1件	ほぼ順調に達成した										
4	移住・定住・就業促進事業	商工観光課	首都圏や県外からの移住・定住を促進するため、U・J・Iターンコーディネーターの配置や、就業相談及び住宅相談窓口を設置する。併せて、地元の雇用創造を図るため、合同就職面接会や起業・創業セミナーを開催する。	20,167,971	19,740,000	大都市圏における宇和島の魅力発信(移住フェアの開催)／情報発信セミナー等開催／プチ創業応援セミナー開催／新たな地域産品開発(先進地視察等支援)／インターン生の受入れ／合同就職面接会開催	移住相談件数	18件	83件	順調に達成した	移住フェアを積極的に開催した。	—	さらに発展・拡充させる	本事業の課題と成果を基に、平成28年度は「移住・定住促進」と「就業・起業・創業支援」を拡充して取り組む。	移住フェアを積極的に開催することで成果に結びつけている。	総合戦略のKPI達成に有効であった			
5	宇和島伊達観光プロモーション事業	商工観光課	各種観光プロモーション事業を実施し、市外からの誘客をより効果的・戦略的に行い、地域経済の活性化と市内の交流人口の増加並びに本市の観光振興の向上を目指すもの。	19,690,554	19,690,000	インバウンド対策を含めた誘客をより効果的・戦略的に行うための観光情報発信媒体及びWi-Fi整備が整った。また「宇和海島クルーズマップ」を作成し、かつ効果的な売込を実施したことから「諸島めぐり」によるツアー客が前年度から倍増した。	観光客入込客数	240万人	291万人	順調に達成した	「宇和島伊達400年祭」を実施し、各種記念事業を行った。その各種記念事業に対し、効果的な宣伝及び旅行ツアーの売り込み等を実施したことから、目標数値を順調に達成できたものである。	—	見直しなしで継続する	—	昨年度は400年祭もあり多くの観光客が訪れ、本年度も南予博が開催されている。このような大きなイベントがなくなるH29以降にどう集客を継続していくかインバウンドも含め課題となる。	総合戦略のKPI達成に有効であった			
6	新たな特産品づくり推進事業	農林課	平成26年の高級和菓子製造会社との連携協定を契機に、特定農産物の栽培を推進し、原材料として安定供給することで、農家の所得向上と圏域農産物のブランド化を図る。	11,806,000	10,552,000	枇杷及び柿の生産は、当初の原材料供給計画に基づく栽培面積を上回る状況となった。枇杷は、農業者1人(新規)が苗木100本の新植に取り組み、柿は、農業者18人(新規6人、規模拡大12人)が苗木690本の新植に取り組んだ。	新たな特産品栽培面積の拡大	枇杷50a 柿50a	枇杷61a 柿138a	順調に達成した	未収益期間の栽培管理、農地再生利用及び鳥獣被害防止対策に要する費用を支援し、また和菓子製造会社加工場の立地が具体化したことで農業者の生産意欲が向上したと考えられる。	—	見直しなしで継続する	—	栽培する農産物は加工用となり、見た目や味にそこまでこだわらなくてよいので、生産性を伸ばすことを考えればいいが、逆に生産者の意欲に影響が出ないか心配な部分もある。	総合戦略のKPI達成に有効であった			

平成27年度 宇和島市地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型) 事業別実績及び効果検証結果一覧

愛媛県宇和島市

基本情報			事業概要			事業成果						事業の今後		事業の検証		
No.	事業名称	担当課名	事業目的	総事業費(実績額)	交付金充当額	成果内容	KPI名称	目標数値	実績数値	結果	左記結果の理由	目標達成のための課題等	今後の方針	今後の方針の内容	外部有識者からの意見	検証結果
7	林業新規就業者支援事業	農林課	スギ・ヒノキを中心とする人工林は資源として利用可能な時期を迎えている。市の森林整備計画に基づく年間伐目目標面積を達成するため、作業効率の向上とともに、伐採作業等を行う人材確保を行う。	3,599,982	3,500,000	南予森林組合に勤務する1ターンの林業従事者の方をアドバイザーとして、東京・大阪等の大都市圏で移住林業就業者説明会を年度合計で10回開催した結果、2人の1ターン者と1人のUターン者の合計3人の移住を達成した。	新規林業就業者数	2人	3人	順調に達成した	林業アドバイザーをはじめ関連機関との良好な連携と、継続した取組みによる認知の浸透によるものと考えられる。	—	見直しなしで継続する	—	仕事が決まっても住む家がないことが課題となる。空家があってもなかなか借りることができない現実に対応する検討が必要となる。	総合戦略のKPI達成に有効であった
8	水産資源高付加価値化事業	水産課	メディアを活用したPR活動を実施することで、全国に「真珠産地 宇和島」の知名度を向上させていく。	4,341,000	4,341,000	新聞で取り上げられたのは、全国紙2社、地方紙28社、スポーツ紙5社の計35社。TVでは、全国放送を中心に11番組で取り上げられた。(受賞タレント:剛力彩芽)	支援事業者数	1件	1件	順調に達成した	株式会社ANA総合研究所と連携することで、メディアから見て、ANAブランドに対する信用が高かったためと考えられる。また、受賞タレントの選定も良かったのではないかとと思われる。	高付加価値化事業に繋げることに留まらず、今後は真珠のPR事業にもブランド力を活かして繋げていく必要がある。	見直し(改善)を行う	水産資源の高付加価値化という部分で、平成28年度は国際認証取得事業へつなげる。	株式会社ANA総合研究所と連携したこと、また、受賞タレントの選定も効果的であったと思われる。	総合戦略のKPI達成に有効であった
9	養殖魚未利用部位商品化支援事業	水産課	生産地での一次加工は増加傾向にあり、未利用部位の集積も増加している。こうした背景の中、新規チャネル参入に伴う雇用創出が見込め、未利用部位の栄養価に着目した試験研究、商品化に取り組もうとする企業を総合的に支援する。	2,021,000	2,021,000	民間会社2社に研究開発させたところ、骨肉分離機を使用して可食肉を取り出しすり身などの商品にしたり、エキス残渣粉末から免疫促進効果が確認でき、栄養機能性食品への展開などが期待できるデータを得ることができた。	支援事業者数	2件	2件	順調に達成した	民間会社2社に研究開発させ、それぞれにおいて有効な成果を得ることができた。	—	見直しなしで継続する	—	民間会社2社に研究開発させ、有効な成果を得ることができている。また研究は、2か年計画で募集しているため、平成28年度内に商品化できるように引き続き支援する必要がある。	総合戦略のKPI達成に有効であった
10	宇和島産品の販路拡大事業	産業未来創造室	国内外において宇和島産品の販路拡大を図り、生産者とその関連企業の売上の増加に資するとともに、雇用機会の拡大を図る。	7,087,282	6,790,000	首都圏など大消費地でのフェア開催/ホテル・飲食店への宇和島産食材提供/バイヤー等関係者の宇和島への招聘/海外への展開(マニラでJapan Food Fair開催、ドバイへハマチフィレ輸出、韓国へヒノキ材をコンテナ輸出等)	フェアの開催又は参加 市外の企業訪問	2件 10か所	15件 100か所	順調に達成した	職員が総出で訪問活動を行い、また市内の企業と連携し、相手方企業と出会う機会がなるべく多くなるように努力した結果、フェア開催の回数も目標値を大きく上回ることができた。	生産者が安心して増産できる環境を整える。直接営業を行い、企業への販売支援、地元加工業の推進などプライベートブランドの製造や外食産業への製造協力ができるようにしたい。	さらに発展・拡充させる	バイヤーなど関係者や担当者を多数宇和島へ招聘し、生産現場を見せたり、生産者とのマッチングを行うことで売り込み強化を行う。	市内の企業と連携し、相手方企業と出会う機会が多くなるよう積極的にフェア開催や企業訪問を行っている。	総合戦略のKPI達成に有効であった
11	国際規格等認証取得支援事業	産業未来創造室	プリASC認証を取得し、高価格有利販売に向けた取組みを通して、地域養殖業の活性化を図る。プリASCOC認証を愛媛県漁連の加工場で取得し、生産・加工・販売の一貫したシステムを構築し、生産者にとって有利な販売を行う。	665,000	660,000	ASC本監査に向けて、水質環境調査を行うための機器を購入し、データの蓄積を行った。また、認証機関によるパイロット監査を受け、現状の問題点の把握を行った。松山、高松の商談会にて、4社にASC認証の周知、認証魚の販売促進を行った。	国際認証取得件数	養殖1件 加工1件	養殖0件 加工0件	達成しなかった	ASC基準が公表されなかったため、本監査を受けることができなかったが、水質環境調査用機器の購入、調査データの蓄積、ASC認証のパイロット監査を受験し、本監査受験に向けた準備を行った。	パイロット監査において、概ね基準をクリアできたが、クリアできなかった項目もあるため、養殖魚の飼育環境の改善が必要となった。	見直し(改善)を行う	ASC認証関係団体や、飼料メーカーの協力を仰ぎ、監査基準のクリアを目指す。大型量販店への販売促進を強化し、具体的な契約の成立を目指す。	ASC基準が公表されなかったため本監査を受けることができなかったが、パイロット監査において概ね基準をクリアできたことは評価できる。	総合戦略のKPI達成に有効であった
12	企業誘致対策事業	産業未来創造室	宇和島市への企業の立地を促進するため、企業との情報交換体制を構築することを目的とする。	254,390	190,000	えひめ大阪ランチネットワーク参加/えひめ東京ランチネットワーク参加/えひめ産業立地フェア2015 in Osaka参加/企業2社を訪問し情報交換を実施	情報交換会への参加回数 フェアの参加回数	2回 1回	2回 1回	順調に達成した	評価指標を達成する情報交換会・フェアに参加し、企業との情報交換を実施することができたため。	目標を達成することができたが、配布物、情報交換会後の企業への訪問など改善点が残った。	さらに発展・拡充させる	情報交換した企業へのアプローチに力を入れる。	積極的に情報交換会やフェアへ参加し、企業との情報交換を実施することにより成果をあげている。	総合戦略のKPI達成に有効であった
13	空家を活用した定住促進事業	建築住宅課	市内に存在する空家を総体的に把握するため空家の実態調査を実施し、健全な空家を有効な資産として活用することで、移住希望者等への住宅提供による人口増加や、住宅困窮者の定住促進を図る。	16,774,779	16,700,000	空家データベースの整備/利活用可能な空家の抽出と所有者の意向調査/空家バンク等への情報の提供	定住希望者に提供可能な空家数	20戸	38戸	順調に達成した	調査を行うことにより、空家の数の特定と、現時点で空家を有効活用したいと考える所有者の確保ができたため。	結果的に空家数38戸が実績数値として出てきたが、潜在的にはまだまだ利活用可能な空家はあると考える。空家バンク登録等の促進を図るためにもさらなる踏み込んだ意向調査が必要である。	さらに発展・拡充させる	空家調査はこれで完了であるが、整備された空家データベースを有効活用し、空家バンク登録等の促進を図る。またホームメイト等HPのリンク拡充も図る。	調査を行うことにより、空き家の数の特定と現時点で空き家を有効活用したいと考える所有者の確保ができています。	総合戦略のKPI達成に有効であった
14	結婚支援のための拠点づくり事業	生涯学習課	結婚支援拠点として、うわじまMIセンター施設を整備するとともに、業務の拡充を行うことで、独身男女に出会いを創出する。また公民館と連携して婚活講座や出会いイベントを実施し、婚活に対するスキルアップやセンターの利用促進を図る。	5,484,461	3,500,000	結婚情報閲覧用ブースを備えたうわじまMIセンター専用施設を整備した。えひめ結婚支援センターと業務連携し、業務を拡張したことに伴い職員を1名増員した。公民館で婚活講座を含む出会いイベントを6地区で述べ14回実施した。	会員数	300人	222人	ほぼ順調に達成した	会員数については新規登録が56人、成婚等によって28人の退会もあり、登録会員数の伸びで言えば目標には達しなかったが、成婚数で言えば前年度の9組に対し15組と1.5倍を超える成果があった。	昨年、宇和島地区広域事務組合による結婚相談事業が終了したことを受け、今後は定住自立圏構想とも連携して、宇和島市に限定せず広域的な取組みを行う必要がある。	さらに発展・拡充させる	婚活講座や出会いイベントのノウハウを民間に移行させていくため、民間団体への委託及び自主運営に向けた支援を行う。	専用施設を整備し、えひめ結婚支援センターと業務連携したことに伴い、成婚数で言えば前年度の1.5倍を超える成果があがっている。	総合戦略のKPI達成に有効であった
15	南予地域事業承継先紹介支援に係る官民連携事業	商工観光課	共通の課題を抱えた南予地域9市町、民間団体、事業者等が連携し、域内の事業者におけるリスクを緩和するとともに、域内の働く場所を維持しつつ、新たな知見による経営改善を促して行くこと等により、社会経済状況の衰退を抑制するもの。	4,281,813	4,281,813	連携推進本部への参加/事業者アンケートの実施	事業承継困難企業の事業承継困難状態を解消	10%	0%	達成しなかった	実態調査の段階であったため。(KPI設定は平成28年4月から)	事業承継に関して行政等の支援を求めている企業の割合が著しく低いことが実態調査で判明した。	見直し(改善)を行う	実態についての再確認と支援スキームの再考を行う。	実態調査の段階であったため目標に対し実績が伴わなかったが、事業承継に関してのニーズの把握ができています。	総合戦略のKPI達成に有効であった

121,057,900 116,494,813